

# RALLY

ラリー「結集」

2023年4月発行

Vol.2

come together to realize.

## TOP RALLY



新年度に向けた  
ご挨拶

## 1st.RALLY



～令和6年度 障害福祉サービス等  
報酬改定までの動向～

## 2nd.RALLY



各支部長 ご挨拶

## 3rd.RALLY



支部設立総会報告



(一社)全国介護事業者連盟  
障害福祉事業部会 会長  
**中川 亮** なかがわりょう

- 一般社団法人 全国介護事業者連盟 障害福祉事業部会会長
- 日本福祉コンサルティンググループ株式会社 代表取締役
- 株式会社ブリファ 代表取締役
- 一般社団法人 チャレンジド・マリッジ 理事長
- その他各種法人役員多数
- ラジオDJ:FMヨコハマ「ヘンケンLABO」
- 歌手:ちはすのすけ「横浜駅」
- 著書「これならわかるくスッキリ図解」共生型サービス

**Top RALLY** 新年度に向けたご挨拶

一般社団法人 全国介護事業者連盟(以下、介事連)障害福祉事業部会は2021年12月設立以来、約1年で全国8支部体制、一般会員は4000事業所近くの方々にご入会いただきました。まずは活動にご賛同・ご協力いただき厚く御礼申し上げます。

本部では「就労支援在り方委員会」「共同生活援助(GH)在り方委員会」「障害児通所支援在り方委員会」「障害福祉サービス在り方委員会」の4つの委員会を設置し、2024年障害福祉サービス等報酬改定に向けて活発な議論を重ねて参りました。2023年度中に厚生労働省と意見交換しながら、各委員会を取り纏めて要望書を提出して参ります。

また、私自身が介事連の代表として、2022年8月より厚生労働省で開催されている「障害児通所に関する検討会」の構成員として参画して参りました。これまでの一部の方のみの声で決められていた制度に対して、我々の意見も少しずつ反映されるようになってきました。

2023年は介護・障害福祉事業者にとって2024年トリプル改定に向けた大切な1年となります。障害福祉事業部会としては今年度中に全都道府県の半分の支部を構築、更なる組織拡大、会員拡大を図り、我々のスローガン「障害福祉のルールは、我々障害福祉事業者主導で決める」の実現に向けて大同団結を図り、障害福祉サービスの発展と生産性の向上を進めて参ります。

今後とも介事連 障害福祉事業部会を宜しくお願致します。

## 令和4年度

## 令和5年度

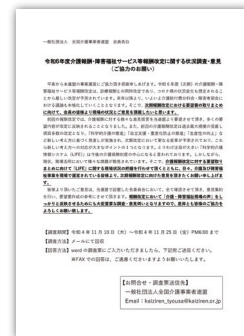
### 【介事連 障害福祉事業部会】

共同生活援助(GH)在り方委員会  
就労支援在り方委員会  
障害児通所支援在り方委員会  
障害福祉サービス在り方委員会



【令和4年7月】  
介護・障害福祉従事者に関する状況調査

【令和4年11月】  
令和6年度介護報酬・障害福祉サービス等  
報酬改定に関する状況調査



【令和5年8月～10月】  
報酬改定に関する要望書提出(予定)

## 1st. RALLY

令和6年度 障害福祉サービス等  
報酬改定までの動向

【令和4年6月】  
障害者総合支援法改正法施行後3年の  
見直しについて報告書公表

【令和4年12月】  
障害者総合支援法等の改正

【令和5年4月～12月】  
社会保障審議会 障害者部会・障害福祉サービス等  
報酬改定検討チーム(見直し項目の議論)

【令和5年10月～12月】  
改定率の決定

【令和6年1月～3月】  
改定項目の決定

千葉県支部長 ご挨拶

令和5年2月1日、障害福祉事業部会千葉県支部が設立されました。これまで、種別・法人格の垣根を超えた大同団結が、障害福祉業界の課題であったことは、会員の皆さまの共通認識であると思います。千葉県支部ではその想いをしっかりと受け継ぎ、最小公倍数(仲間内だけで取り組みたいこと)ではなく、業界全体の最大公約数(持続可能性と現場の声)について会員の皆様と目線を合わせ、そして議論を深めて、サービスの質の向上や地域連携のコアとなるべく、尽力して参ります。さらに、各既存団体の皆さまとの交流や意見交換も行っています。

また今後の活動として、2つの方針を検討しています。

1. 障害福祉事業者の意見や要望について、ICTを活用のうえ迅速に取りまとめ、行政や議員、首長等に対して積極的に政策提言や情報提供を行い、障害福祉の充実と発展に取り組み。
  2. 階層ごとの研修を実施し、経営者向けセミナー(制度改正や報酬改定、審議会等資料への理解や職員等現場向けの研修(アセスメント・評価・虐待防止・サビ管研修)を積極的に開催することで、経営と現場の両面から障害福祉サービスの質の向上を目指す。特にサービスマン(以下、サビ管)の研修については、千葉県支部主体で開催し、サビ管不足や質の課題解消に向けて積極的に取り組む。
- さらに、会員獲得に向け支部長・幹事が自ら足を運び、様々な事業所の皆さまの声を集め、『何が千葉県の現場で起きているのか』、我々自身がよく知ることから始めていきたいと思えます。



すぎの たかひこ  
千葉県支部長 杉野 貴彦

2017年 株式会社ダンデザイン創業。  
千葉県千葉市花見川区にBRIDGEを設立。ミニセンター機能を持つ児童発達支援+保育所等訪問支援の多機能型事業所として、多職種連携+地域連携の事業モデルを確立。放デイ・児発・保訪・相談支援の10拠点は全て千葉市花見川区で行い、地域で欠かさないリソースとなっている。◆一般社団法人 全国介護事業者連盟 障害福祉事業部会 役員・事務局長 ◆一般社団法人 全国介護事業者連盟 関東支部 幹事

福岡県支部長 ご挨拶

全国介護事業者連盟に障害福祉事業部会が設立され、約1年後の令和5年2月、障害福祉事業部会 福岡県支部が設立されました。福岡県の障害福祉事業者及び職員、そして何より利用者の皆さまにとって心強く且つ喜ばしいことであり、関係各位へ感謝の気持ちと御礼を申し上げます。

高度経済成長を背景に労働人口の増加、税収増、世界に誇る社会保障制度を維持し続けた日本も、今は人口減、労働人口減、税収減という時代の大転換期を迎え、障害福祉事業に従事する我々も改めて本来の在り方を問われる時期に差し掛かってきています。また同時に、我々の存在意義を社会に示す必要性を感じております。

それには1事業所だけの力では微力であり、多くの事業所の力を結集した組織としての活動が必須であると考えます。

そして、我々の事業のことは我々で考える。それが、障害福祉サービスを受ける方々の満足度向上や社会で活躍する人々を送り出すことに繋がっていくと信じて、福岡県支部の活動を行って参ります。

まずは、福岡県内の事業者の想いを集めるべく志を共にする会員企業を増やし、持続可能な障害福祉制度の実現に向けて、現場や利用者などの多角的な視点の制度、政策提言、情報発信に、行政や議員、首長の方々と巻き込みながら『三方良し』の関係を構築して、取り組みを進めていく所存でございます。

皆様には、引き続きご協力の程宜しくお願ひ申し上げます。



かむら けん  
福岡県支部長 賀村 研

株式会社カムラック(カムラックグループ)、代表取締役兼グループ代表。  
2013年10月より福岡市を中心に、全国でも珍しいIT分野を活用した障害者総合就労支援事業を展開。企業パートナーとともに全国で障がい者就労の支援を行っている。「第12回日本ではいばん大切にしたい会社大賞」で審査委員会特別賞を受賞。◆一般社団法人 全国介護事業者連盟 障害福祉事業部会 役員 ◆一般社団法人 全国介護事業者連盟 九州支部 幹事

支部設立総会 報告



栃木県支部 設立総会



北海道支部 設立総会



鹿児島県支部 設立総会



京都府支部 設立総会



愛知県支部 設立総会

全国介護事業者連盟  
全国大会in東京2023  
開催決定!

障害福祉事業者は必見  
サビ管・児発管の  
配置要件が緩和

コロナ禍収束へ  
5月8日で5類に引き下げ  
介護・障害福祉現場の影響を解説



YouTube 動画配信やっています

チャンネル登録をお願いします!

全国介護事業者連盟

